

2025



国際農業文化理解 (タイ)

2025年度 活動報告書

2025年8月31日～9月10日



目次

1. 国際農業文化理解とは
2. 大学訪問
3. 模擬国連
4. 観光・視察
5. 終わりに



1.国際農業文化理解(タイ)とは？

- 農学部主催の約**10**日間の海外実習
- 現地の学生と交流、タイの工場や大学視察を通して、知見を深めることが目的
- 実習を通して英語力を向上させることが期待できる。
- タイでの生活を通じて日本と異なる文化に触れることができる。



プログラム内容

- **観光**

様々な種類のマーケットの視察、寺院の視察

- **大学訪問**

タイの大学で行われている研究や施設の見学

- **企業訪問**

タイフーズインターナショナル社の企業説明・工場見学

- **模擬国連**

タイの学生と、一つの議題についてプレゼンテーションを行う。

2.大学・企業訪問



明治大学アセアンセンター



シーナカリンウィロート大学



パンヤピワット経営大学



カセサート大学



タイフーズインターナショナル

明治大学 アセアンセンター

シーナカリンウィロート大学内に
ある**明治大学の東南アジア**におけ
る拠点です。

**タイ語やタイの文化について学びま
した！！**

この「めいじろう」は今年デビュー
しました！！



シーナカリンウィロート大学



- **模擬国連の練習**を行いました。
- **現地の学生と交流**を行い絆を深めることができました。
- 本番さながらの発表に緊張しました～

英語での
コミュニケーションは
難しかったです...



パンヤピワット経営大学

- タイ最大の財閥、**CPグループ**が運営する大学です。
- お互いの大学の紹介を通じてタイの経済を知ることができました。
- **タイティーやお菓子づくり**もしました。



CPグループはタイで
セブンイレブンを
運営してます



カセサート大学



KU
KASETSART
UNIVERSITY



- 昆虫、植物、家畜について学習しました。
- 想像を超える**広大なキャンパス**でした！
- この日は**カセサート大学の施設に宿泊**しました。



タイフーズインターナショナル



タイフーズインターナショナルは、JTグループの事業の一つで、タイにある食品会社です。酵母エキスなどのうまみを生かした原料を作り、世界レベルで販売を行っています。今回は酵母の製造についてお話を伺いました。





乾燥酵母パウダーの製造・販売方法やタイ人と働くことについてお話を伺いました。

下の樽の中に入っている蜜を原料として酵母パウダーを製造しています。

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました！



見学後の懇親会では海外で働くことについて知ること、海外企業へのイメージがより具体的になりました。





3. 模擬国連



模擬国連当日の流れ

開会式

テーマの確認

発表

- 各チーム12分
- 質疑応答(5分)
- 全体のまとめ

閉会式

- 写真撮影
- 懇親会



今年度のテーマ、[Carbon Credits & Carbon Footprints: How to Achive Sustainability for Furture Food]を達成するアイデアを、2チームごと、それぞれの国の立場で発表しました。

Reducing Australia's Carbon Footprint: The Role of Bushfire Management

Meiji University

Members: Yoshiharu Yagi · Kurumi Wakida
Rinka Uenishi · Manaka Fujie



オーストラリアチームは
山火事対策

×

カーボンフットプリントの削減
に焦点を当てました。



ニュージーランドチームは
フードサステナビリティ

×

カーボンフットプリントの削減
に焦点を当てました。

FOOD SUSTAINABILITY IN NEW ZEALAND

Kanae Togawa Kotarou Yoshida
Reo Matsushima Mizuki Inako Ayumi Aboshi

発表の様子



模擬国連の感想

- スライド作り、質疑応答対策を通して

外国の食料生産に関する特色や経済対策など、幅広い事柄を調べる

→授業では取り扱わない様々な知識が得られる

- 質疑応答、交流会で外国の学生と友達に

すべて英語の国際会議に参加、海外の学生と交流し、英語学習のやる気UPに

**自分の視野と知識が
日本では想像できない方向に広がる！**





4. 観光・視察





Amphawa Floating
Market



Maeklong
Railway
Market



Jodd Fairs Night
Market

タイの食事

私たちはタイを訪れ、本場の味を堪能してきました。
その中でも「これは絶対に食べてほしい！」と思った料理を、ランキング形式でご紹介します。

1位 ハイナンジーハン（茹で鶏のせご飯）

2位 カオパット（タイ風チャーハン）

3位 マンゴースムージー

寺院

Wat Pho



Wat Arun



交通機関

『トゥクトゥク』

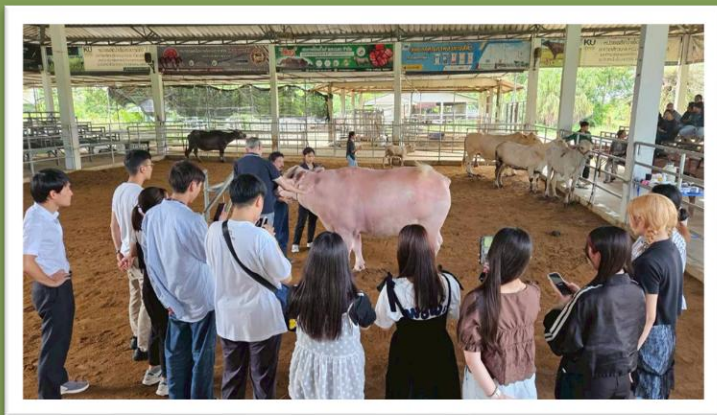


タイといえば必ず乗りたいのがトゥクトゥクです。昼のトゥクトゥクはもちろん、夜のトゥクトゥクはライトアップやスピーカーを使用できる車もあり非日常を味わうことができ、とても楽しいです。値段も交渉次第ですが、ぼったくりには注意です△

『船』



日本では馴染みないですが、タイでは船も一般的に利用されています。バスのような乗り方で乗船することができます。タイの街並みを見ながらぜひ利用してみてください！



5.おわりに



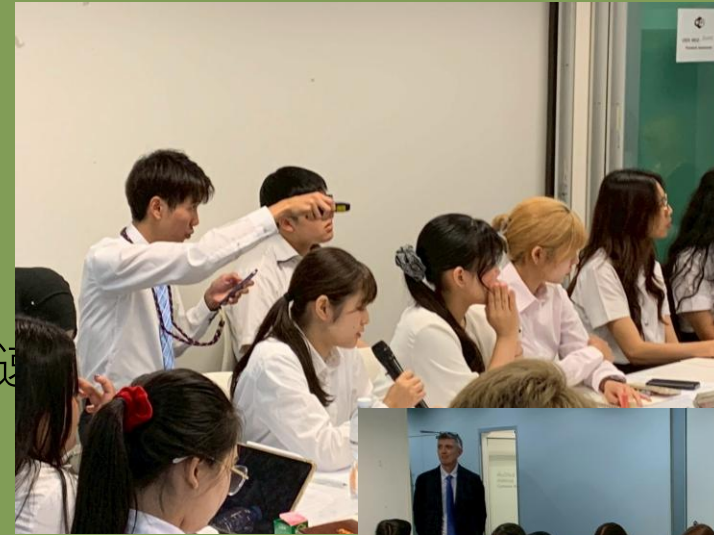
このプログラムを通して学んだこと

英語力の必要性
コミュニケーションスキル
価値観や考え方
他者との協働



英語力の必要性

- 英語力が不十分なことで**言いたいことが伝わらない悔しさ、会話が成立しない虚しさ**を実感。
- タイの学生の英語力の高さと、質問に対する返答の速さに驚かされた。自分の意見を即座に英語でまとめ、的確に伝える力を身につけている点に感心。
- 模擬国連での発表を通して、論理的に考えた内容を**正確に伝える英語力**と、他者の説明を誤解せずに**正しく理解する英語力**の大切さを実感。



語学力は単なる知識ではなく、

思考を伝え合うための手段！！

自分の考えを的確に表現し、
相手の意図を正しく理解することができてこそ、
真の議論が生まれると実感した。

特に、グローバル化が進む現代においては、
異なる背景を持つ人々と正確に意思疎通を図る力がより一層求められている。
今後は「伝える力」と「聴く力」の両方を意識的に磨いていき、
実践的な英語力を身につけていきたい。



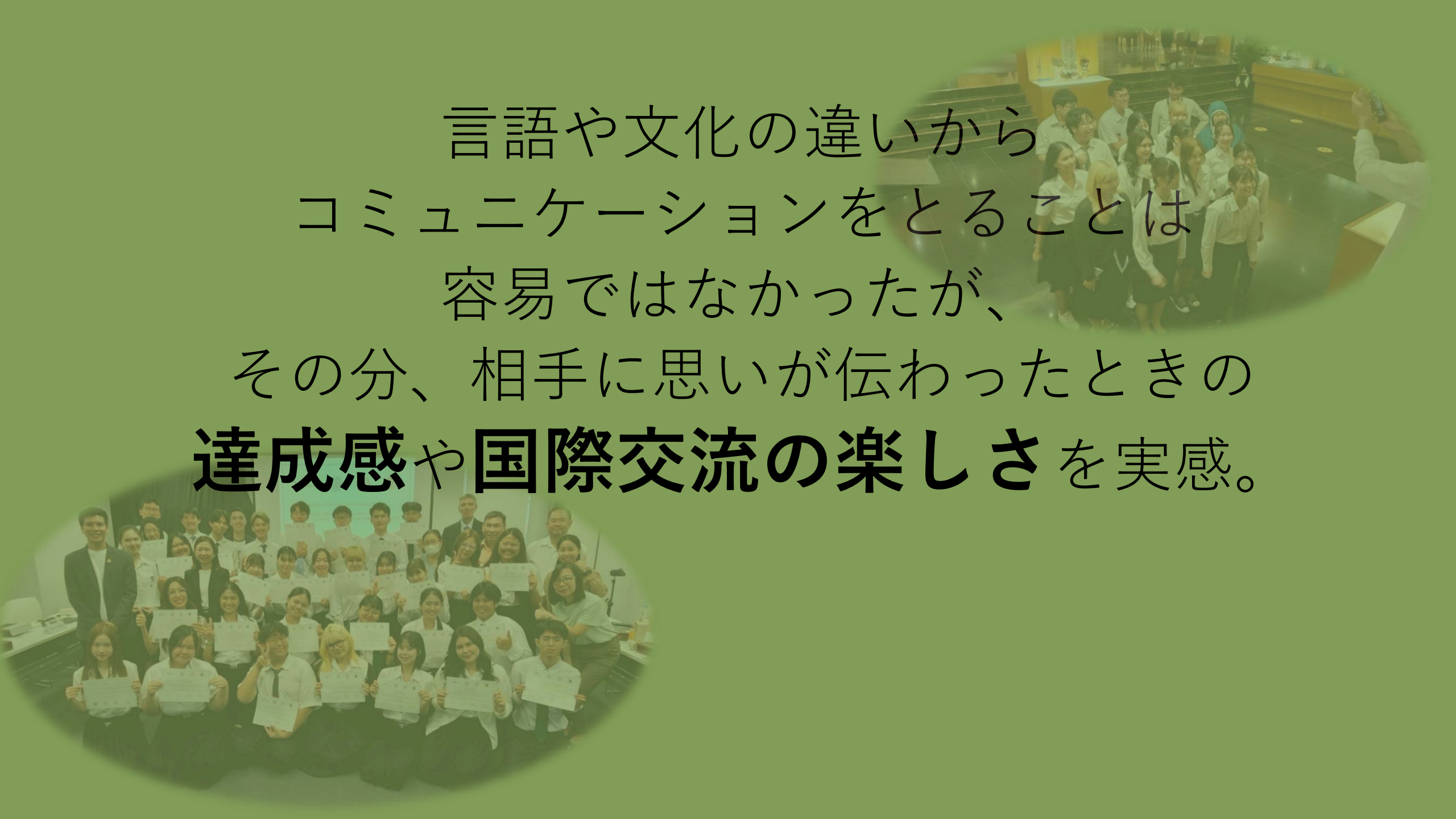
コミュニケーションスキル

語学力以外で必要だと感じたコミュニケーションスキル

- ・ 相手が話していることが分からなくても質問したり簡単な英語にしたりしてもらうことでなんとか理解しようとする**態度**
- ・ 話したいことの英語が出てこなくてもジェスチャーやわかる英語を工夫して使いどうにか伝えようと**努力する姿勢**

必要なのは語学力だけではない！

言語や文化の違いから
コミュニケーションをとることは
容易ではなかったが、
その分、相手に思いが伝わったときの
達成感や国際交流の楽しさを実感。



3. 価値観や考え方

タイの大学の農学を学び、様々な分野を学ぶ学生との模擬国連を通じて新しい考えを得られた。大学の広い土地やタイの温暖な気候だからこそ観察できる生物や行える農業などを実際に見学できた。



タイでの滞在や現地の学生との交流を通して、文化やライフスタイル、人柄の違いを肌で感じることができた。日本にはないタブーな文化や言語を思うように使えないことから人の温かさを知った。

- **タイの雰囲気や文化**を学び、
日本とは異なる**文化を理解**
できる貴重な機会になった。
- このような文化の違いが
国際平和や国際問題の解決を
難しくさせていると考えた。



4. 他者との協働

プレゼン作成の流れ

問題点を挙げる

国の特徴を理解することが重要

解決策の提案

学んでいることが違うため視点も違う

論理的に整理

ネイティブでなくても分かるように

資料にまとめる

分かりやすい説明を心掛ける

大変だった点

- 頻繁に共有しないと書いているうちに内容に相違が出てしまう
- 分担を決めていても内容を変えるときは前後に影響するため共有が必要
- パワーポイントを扱うのに慣れていない人もいたため計画通りに進まない



- グループワークならではの大変なことはたくさんあったが、**意見を整理**してスライドに**まとめる力**がついた。
- その分**達成感**は大きく、**充実した時間**にできた。



THANK YOU



このプログラムで貴重な経験をさせていただき多くの
学びを得ることができました。

興味を持った方はぜひ参加してみてください！